

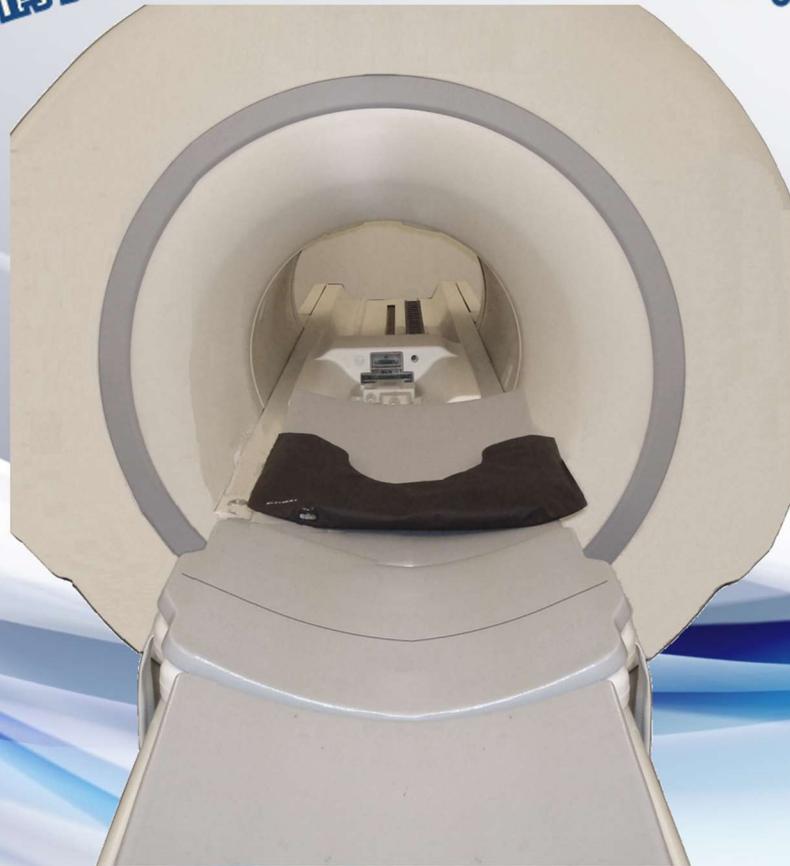
ICパッド

LOCAL MAGNETIC FIELD INHOMOGENEITY CORRECTION PAD

MRI用画像補正補助固定具

医療機器製造販売届出番号 28B3X10039000003

情報を、より多く、より鮮明に！



日常のMRI検査のなかで、頸部や体表面などの被写体の形状が複雑で磁化率が極端に変化するような部位や、オフセンターでの撮像を余儀なくされるような場合、脂肪抑制が不完全となりやすい。

ICパッドは、このような局所磁場の不均一を補正するための補助具です。

※すべての画像を保証するものではありません。

IC-neck3



IC-chest



画像診断の多様化に伴い、MRIの位置付けは欠かせないものとなりました。

MR装置の進歩には目まぐるしいものがありますが、一方では撮影部位によっては、局所磁場の不均一により脂肪抑制効果にムラを生じたりしています。

ICパッドは、このような静磁場で生じる磁場の不均一を補正し、脂肪抑制画像を改善する目的で作られた補助具です(誘電パッドではありません)。

【 特徴 】

- 水溶性素材を使用していないので、湾曲した体表面で形状の均一性が望めます。
- 水溶性素材を使用していないので、患者への圧迫負担を軽減します。

【 使用例 】



IC-neck3(頸部用)



IC-belly(腹部用)



IC-hand(手関節用)

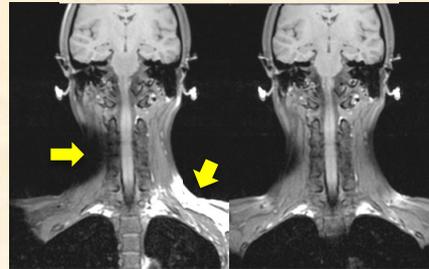
【 画像例 】

(頸部磁場検証)



IC パッドなし IC パッドあり

(T1 強調脂肪抑制画像)



IC パッドなし IC パッドあり

【 人体の形状による磁場不均一 】



磁力線が遮られるような形状である部位(頸部、乳腺領域など)で発生しやすくなります。

マグネットが作り出す静磁場分布が不均一な場合、水のピークをMRシステムが認識できないと正しく励起されません。

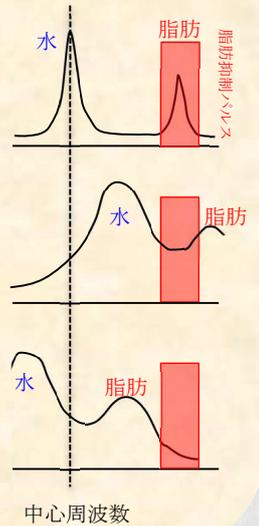
【 頸部における局所磁場の不均一性 】



脂肪抑制
良好

脂肪抑制不良
(水抑制)

脂肪抑制不良
(何も抑制
されない)



資料提供:神戸大学医学部附属病院 放射線部

名称	使用部位	サイズ (mm)	名称	使用部位	サイズ (mm)	名称	使用部位	サイズ (mm)
IC-neck1	頸部用(大)	405 × 390 × 20	IC-chest	胸部用	360 × 470 × 10	IC-back	脊髄用	230 × 530 × 10
IC-neck2	頸部用(中)	325 × 390 × 20	IC-hand	手関節用	330 × 1120 × 20	IC-knee	膝関節用	240 × 660 × 10
IC-neck3	頸部用(小)	165 × 660 × 10	IC-belly	腹部用	400 × 1120 × 20	IC-elbow	肘関節用	230 × 420 × 10

※頸部用は患者とコイルの隙間の大中小で選定下さい。

販売元



神戸バイオメディクス株式会社

〒653-0866 兵庫県神戸市長田区長者町17-3

TEL:078-647-8347 FAX:078-647-8947

URL: <https://kobe-biomedix.co.jp>

